

2008年 大会記録

国際

◇ワールドカップ=女子（1月19～20日、中国・太原）

3位

予選1回戦 日本○ [5-2] ●ウクライナ

予選2回戦 B Y E

予選3回戦 日本● [3-4] ○米国

3位決定戦 日本○ [5-2] ●カザフスタン

《個人順位》▼48kg級 坂本真喜子（自衛隊）、伊調千春（ALSOK 総合警備保障）、▼51kg級 坂本日登美（自衛隊）、▼55kg級 松川知華子（ジャパンビバレッジ）、吉田沙保里（ALSOK 総合警備保障）、▼59kg級 山名慧（中京女大）、▼63kg級 西牧未央（中京女大）、伊調馨（ALSOK 総合警備保障）、▼67kg級 新海真美（中京女大）、▼72kg級 佐野明日香（自衛隊）

◇デープ・シュルツ国際大会（2月8～10日、米国・コロラドスプリングズ）

《男子フリースタイル》▼55kg級 稲葉泰弘（専大）=5位、守田泰弘（日体大）=五失、藤元洋平（早大）=五失、▼60kg級 安沢薫（早大）=五失、紋谷哲平（日大）=三失、▼66kg級 米満達弘（拓大）=5位、▼74kg級 大月葵斐（早大）=三失、▼84kg級 門間順輝（日体大）=三失、▼96kg級 藤本健治（拓大）=四失、▼120kg級 中村淳志（拓大）=三失

《男子グレコローマン》▼55kg級 峯村亮（神奈川大）=三失、▼60kg級 倉本一真（山梨学院大）=三失、岡本佑士（拓大）=5位、▼66kg級 藤本浩平（拓大）=三失、▼74kg級 田中悠一（日体大）=五失、伊藤啓太（拓大）=三失、▼84kg級 那口裕洋（日体大）=三失、▼96kg級 北村克哉（専大）=三失、▼120kg級 河野隆太（青山学院大）=二失

◇ハンガリー・カップ=男子グレコローマン（3月1～2日ハンガリー・ソンバテール）

▼66kg級 笹本睦（ALSOK 総合警備保障）=二失、藤村義（自衛隊）=35選手出場三失、▼74kg級 鶴巻宰（自衛隊）=3位、▼96kg級 加藤賢三（自衛隊）=一失

◇クリッパン女子国際大会（3月7～9日、スウェーデン・クリッパン）

《シニア・ジュニア》▼48kg 級 荒川早紀恵（埼玉・花咲徳栄高）＝三失、▼48kg 級 藤川千晶（埼玉・埼玉栄高）＝9位、▼48kg 級 高木美香（神奈川・向上高）＝二失、▼51kg 級 鈴木綾乃（東京・安部学院高）＝3位、▼55kg 級 新井千明（群馬・富岡実高）＝四失、▼55kg 級 高橋春花（宮城・東北工大高）＝7位、▼59kg 級 平野翔子（神奈川・日大藤沢高）＝二失、▼59kg 級 津田香耶（東京・安部学院高）＝3位、▼63kg 級 立光志織（東京・安部学院高）＝二失、▼67kg 級 飯島千晶（東京・安部学院高）＝5位、▼72kg 級 濱田早織（群馬・藤岡北高）＝一失

《カデット》▼38kg 級 井手遥（大阪・同志社香里中）＝3位、宮原優（富山・MIYAHARA GYM）＝優勝、▼43kg 級 木村安里（群馬・千代田ジュニア）＝二失、登坂絵莉（富山・MIYAHARAGYM）＝五失、▼46kg 級 長沼美香（岐阜・岐阜工高）＝3位、鈴木美織（東京・安部学院高）＝2位、▼49kg 級 増田奈千（大阪・吹田市民教室）＝四失、▼52kg 級 木村早耶架（青森・青森ク）＝四失、浜田千穂（東京・ゴールドキッズ）＝優勝、▼56kg 級 平野遥香（東京・安部学院高）＝三失、嶋田実結（青森・青森商高）＝二失、▼60kg 級 菅原ひかり（三重・一志ジュニア）＝三失、藤優希（福井・福井ク）＝4位、▼65kg 級 新井明恵（群馬・富岡実高）＝二失、歌田圭純（東京・安部学院高）＝四失、▼70kg 級 橋本千紘（福井・福井ク）＝三失

◇アジア選手権（3月18～23日、韓国・済州島）

《男子フリースタイル》▼55kg 級 松永共広（ALSOK 総合警備保障）＝優勝、▼60kg 級 高塚紀行（日大）＝2位、▼66kg 級 池松和彦（K-POWRS）＝3位、▼74kg 級 長島和幸（クリナップ）＝3位、▼84kg 級 鈴木豊（自衛隊）＝5位、▼96kg 級 磯川孝生（山口県協会）＝7位、▼120kg 級 荒木田進謙（専大）＝7位

《男子グレコローマン》▼55kg 級 長谷川恒平（福一漁業）＝3位、▼60kg 級 北岡秀王（クリナップ）＝3位、▼66kg 級 飯室雅規（自衛隊）＝3位、▼74kg 級 岩崎裕樹（銀水荘）＝10位、▼84kg 級 松本慎吾（一宮運輸）＝優勝、▼96kg 級 加藤賢三（自衛隊）＝5位、▼120kg 級 新庄寛和（自衛隊）＝3位

《女子》▼48kg 級 伊調千春（ALSOK 総合警備保障）＝優勝、▼51kg 級 甲斐友梨（アイシンAW）＝5位、▼55kg 級 吉田沙保里（ALSOK 総合警備保障）＝優勝、▼59kg 級 梶田瑞華（中京女大）＝3位、▼63kg 級 伊調馨（ALSOK 総合警備保障）＝優勝、▼67kg 級 新海真美（中京女大）＝優勝、▼72kg 級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）＝優勝

◇北京五輪最終予選第1戦＝男子フリースタイル（4月18～20日、スイス・マルティ

ニー）

▼60kg級 高塚紀行（日大コーチ）＝13位、▼74kg級 長島和幸（クリナップ）＝28位、▼96kg級 小平清貴（警視庁）＝6位、▼120kg級 田中章仁（FEG）＝13位、

◇北京五輪最終予選第2戦＝男子フリースタイル（5月2～4日、ポーランド・ワルシャワ）

▼60kg級 湯元健一（日体大助手）＝優勝、▼74kg級 高谷惣亮（拓大）＝7位、▼84kg級 鈴木豊（自衛隊）＝21位、▼96kg級 小平清貴（警視庁）＝16位、▼120kg級 荒木田進謙（専大）＝17位

◇北京五輪最終予選第1戦＝男子グレコローマン（5月9～11日、イタリア・ローマ）

▼55kg級 長谷川恒平（福一漁業）＝20位、▼66kg級 藤村義（自衛隊）＝19位、▼74kg級 鶴巻宰（自衛隊）＝22位、▼120kg級 中村淳志（関西）＝22位

◇北京五輪最終予選第2戦＝男子グレコローマン（5月23～25日、セルビア・ノビサド）

▼55kg級 豊田雅俊（警視庁）＝3位、▼66kg級 飯室雅規（自衛隊）＝7位、▼74kg級 鶴巻宰（自衛隊）＝10位、▼120kg級 新庄寛和（自衛隊）＝19位

◇グレート・ブリテン・カップ＝男子フリースタイル（6月7～8日、英国・シェフィールド）

▼60kg級 松永共広（ALSOK 総合警備保障）＝2位、▼66kg級 池松和彦（K-POWRS）＝優勝、▼74kg級 鈴木崇之（警視庁）＝2位

◇ドイツ・グランプリ（6月21～22日、ドイツ・ドルトムント）

《男子フリースタイル》▼55kg級 松永共広（ALSOK 総合警備保障）＝2位、▼66kg級 池松和彦（K-POERS）＝2位、▼74kg級 鈴木崇之（警視庁）＝3位

《男子グレコローマン》▼60kg級 笹本睦（ALSOK 総合警備保障）＝優勝、▼84kg級 松本慎吾（一宮運輸）＝3位、▼96kg級 加藤賢三（自衛隊）＝3位

◇ゴールデン・グランプリ決勝大会（6月27～29日、アゼルバイジャン・バクー）

《男子グレコローマン》▼74kg級 鶴巻宰（自衛隊）＝3位

◇アジア・ジュニア選手権（7月4～6日、カタール・ドーハ）

《男子フリースタイル》▼50kg級 入江真司（福岡・門司北高）＝7位、▼55kg級 若林健太（東洋大）＝8位、▼60kg級 田中幸太郎（京都・京都八幡高）＝3位、▼66kg級

級 生天目達也（日大）＝7位、▼74kg級 江藤公洋（専大）＝7位、▼84kg級 永田裕城（日大）＝8位、▼96kg級 時信光一（日体大）＝10位、▼120kg級 相沢優人（日大）＝2位

《男子グレコローマン》▼50kg級 田野倉翔太（東京・自由ヶ丘学園高）＝3位、▼55kg級 清水早伸（自衛隊）＝5位、▼60kg級 佐々木遼（拓大）＝8位、▼66kg級 岡本佑士（拓大）＝3位、▼74kg級 田中政之（日体大）＝10位、▼84kg級 佐藤洋輔（明大）＝6位、▼96kg級 有菌拓真（山梨学院大）＝3位、▼120kg級 西木亨（徳山大）＝8位

《女子》▼44kg級 長沼美香（岐阜・岐阜工高）＝3位、▼48kg級 西のどか（早大）＝優勝、▼51kg級 清水愛（東洋大）＝2位、▼55kg級 道祖士祥子（大東大）＝4位、▼59kg級 津田香耶（環太平洋大）＝3位、▼63kg級 井上佳子（中京女大）＝優勝、▼67kg級 飯島千晶（東京・安部学院高）＝優勝、▼72kg級 宇野杏奈（日体大）＝優勝

◇世界学生選手権（7月9～13日、ギリシャ・テッサロニキ）

《男子フリースタイル》▼55kg級 稲葉泰弘（警視庁＝専大OB）＝優勝、▼60kg級 大沢茂樹（山梨学院大）＝優勝、▼66kg級 米満達弘（拓大）＝優勝、▼74kg級 大月葵斐（早大）＝5位、▼84kg級 門間順輝（日体大）＝3位、▼96kg級 藤本健治（拓大）＝8位、▼120kg級 中村淳志（カンサイ＝拓大OB）＝3位

《男子グレコローマン》▼55kg級 峯村亮（神奈川大職＝神奈川大OB）＝3位、▼60kg級 倉本一真（山梨学院大）＝2位、▼66kg級 藤本浩平（警視庁＝拓大OB）＝11位、▼74kg級 田中悠一（岡山県協会＝日体大OB）＝5位、▼84kg級 那口裕洋（日体大）＝11位、▼96kg級 山本雄資（山梨学院大）＝11位、▼120kg級 北村克哉（FEG＝専大OB）＝7位

《女子》▼48kg級 内田奈美（東洋大）＝優勝、▼51kg級 藤本麻希（大東大）＝3位、▼55kg級 平田幸子（法大）＝5位、▼59kg級 中田絵理子（早大）＝7位、▼63kg級 高橋海里奈（早大）＝3位、▼67kg級 梶本千晶（関大）＝8位、▼72kg級＝派遣なし

◇アジア・カデット選手権（7月25～27日、ウズベキスタン・タシュケント）

《男子フリースタイル》▼42kg級 阿部宏隆（茨城・水戸二中）＝5位、▼46kg級 有元伸悟（大阪・吹田市民教室）＝3位、▼50kg級 荻原健汰（静岡・沼津城北高）＝5位、

▼54kg 級 花田吉弘（京都・網野高）＝三失、▼58kg 級 遠藤彪梧（神奈川・向上高）＝5 位、▼63kg 級 米田奈央（富山・滑川高）＝一失、▼69kg 級 嶋田大育（青森・青森商高）＝一失、▼76kg 級 杉本京介（福岡・東鷹高）＝二失、▼85kg 級 佐々木健吾（岡山・倉敷高）＝二失、▼100kg 級 村木孝太郎（滋賀・栗東高）＝3 位

《男子グレコローマン》▼42kg 級 香川智彦（奈良・添上高）＝5 位、▼46kg 級 天野敬太（静岡・三島高）＝一失、▼50kg 級 中野智章（静岡・焼津中央高）＝2 位、▼54kg 級 金沢翔太（群馬・前橋西高）＝一失、▼58kg 級 青木成樹（静岡・飛龍高）＝5 位、▼63kg 級 米山聡教（山梨・韮崎工高）＝5 位、▼69kg 級 花山和寛（愛媛・八幡浜工高）＝二失、▼76kg 級 榑真嗣（大分・日本文理大付高）＝一失、▼85kg 級 大西淳（愛媛・八幡浜高）＝一失、▼100kg 級 赤嶺希（沖縄・浦添工高）＝5 位

《女子》▼43kg 級 植野さくら（京都・網野高）＝優勝、▼46kg 級 鈴木美織（東京・安部学院高）＝優勝、▼49kg 級 明尾弥紀（京都・網野高）＝優勝、▼52kg 級 浜田千穂（東京・日工大駒場高）＝優勝、▼56kg 級 木下茜（埼玉・埼玉栄高）＝優勝、▼60kg 級 伊藤友莉香（京都・網野高）＝優勝、▼65kg 級 歌田圭純（東京・安部学院高）＝優勝、▼70kg 級 橋本千紘（東京・安部学院高）＝3 位

◇世界ジュニア選手権（7月29日～8月3日、トルコ・イスタンブール）

《男子フリースタイル》▼50kg 級＝派遣なし、▼55kg 級 須藤学（日大）＝13 位、▼60kg 級 松本桂（早大）＝10 位、▼66kg 級 石田智嗣（早大）＝13 位、▼74kg 級 武富隆（早大）＝20 位、▼84kg 級 松本篤史（日体大）＝17 位、▼96kg 級 内藤光祥（日大）＝10 位、▼120kg 級 荒木田進謙（専大）＝3 位

《男子グレコローマン》▼50kg 級 松原大知（大東大）＝14 位、▼55kg 級 鈴木将斗（明大）＝29 位、▼60kg 級 横山巧（日体大）＝20 位、▼66kg 級 富塚拓也（日体大）＝27 位、▼74kg 級 渡部友章（日体大）＝33 位、▼84kg 級 天野雅之（中大）＝5 位、▼96kg 級 中谷月明（専大）＝20 位、▼120kg 級 平川臣一（専大）＝3 位

《女子》▼44kg 級 藤川千晶（埼玉・埼玉栄高）＝14 位、▼48kg 級 三村冬子（日大）＝優勝、▼51kg 級 堀内優（京都・網野高）＝優勝、▼55kg 級 清水明子（自衛隊）＝3 位、▼59kg 級 渡利璃穂（愛知・至学館高）＝9 位、▼63kg 級 佐藤文香（愛知・至学館高）＝3 位、▼67kg 級 飯島千晶（東京・安部学院高）＝3 位、▼72kg 級 増尾優華（中京女大）＝5 位

◇北京五輪（8月12～21日、中国・北京）

《男子フリースタイル》▼55kg 級 松永共広 (ALSOK 総合警備保障) = 2 位、▼60kg 級 湯元健一 (日体大助手) = 3 位、▼66kg 級 池松和彦 (K-POWERS) = 13 位

《男子グレコローマン》▼60kg 級 笹本睦 (ALSOK 総合警備保障) = 10 位、▼84kg 級 松本慎吾 (一宮運輸) = 15 位、▼96kg 級 加藤賢三 (自衛隊) = 19 位

《女子》▼48kg 級 伊調千春 (ALSOK 総合警備保障) = 2 位、▼55kg 級 吉田沙保里 (ALSOK 総合警備保障) = 優勝、▼63kg 級 伊調馨 (ALSOK 総合警備保障) = 優勝、▼72kg 級 浜口京子 (ジャパンビバレッジ) = 3 位照

◇世界選手権=女子 (10 月 11~13 日、東京・代々木競技場第 1 体育館)

▼48kg 級 坂本真喜子 (自衛隊) = 3 位、▼51kg 級 坂本日登美 (自衛隊) = 優勝、▼55kg 級 吉田沙保里 (ALSOK 総合警備保障) = 優勝、▼59kg 級 正田絢子 (網野クラブ) = 優勝、▼63kg 級 西牧未央 (中京女大) = 優勝、▼67kg 級 新海真美 (アイシン・エイ・ダブリュ) = 2 位、▼72kg 級 浜口京子 (ジャパンビバレッジ) = 3 位

◇モンゴル・プレジデント・カップ=男子フリースタイル (11 月 14~16 日、モンゴル・ウランバートル)

▼55kg 級 富田和秀 (自衛隊) = 11 位、▼60kg 級 齊藤将士 (警視庁) = 11 位、▼66kg 級 坂本将典 (自衛隊) = 10 位、▼74kg 級 小原康司 (自衛隊) = 3 位、▼84kg 級 伊藤拓也 (マルハン) = 7 位、▼96kg 級 坂本憲蔵 (自衛隊) = 8 位

◇NYACオープン国際大会 (11 月 21~22 日、米国・ニューヨーク)

《男子グレコローマン》▼55kg 級 平尾清晴 (新潟県協会) = 2 位、▼60kg 級 堀弘輔 (自衛隊) = 5 位、▼66kg 級 清水博之 (自衛隊) = 3 位、▼74kg 級 角功介 (自衛隊) = 五失、▼84kg 級 太田充洋 (大分・津久見高教) = 三失

《女子》▼51kg 級 甲斐友梨 (アイシン・エイ・ダブリュ) = 3 位、▼59kg 級 斎藤貴子 (自衛隊) = 4 位、▼67kg 級 新海真美 (アイシン・エイ・ダブリュ) = 優勝、▼72kg 級 佐野明日香 (自衛隊) = 三失

◇世界グラップリング選手権 (12 月 20 日、スイス・ルツェン)

《No-Gi》▼80kg 級 栗栖達也 (パラエストラ松戸) = 三失、鶴屋浩 (パラエストラ松戸) = 三失、▼92kg 級 久能孝徳 (チーム太田章) = 3 位

《Gi》▼80kg 級 栗栖達也 (パラエストラ松戸) = 一失、鶴屋浩 (パラエストラ松戸)

= 3位、▼92kg級 久能孝徳 (チーム太田章) = 二失

国内

◇全国高校選抜大会 (3月27~29日、新潟・新潟市体育館)

《学校対抗戦》[1] 京都・京都八幡 (初)、[2] 茨城・霞ヶ浦、[3] 長野・上田西、岐阜・岐南工

《個人戦優勝者》▼50kg級 半田守 (京都・網野)、▼55kg級 五十嵐琢磨 (秋田・秋田商)、▼60kg級 井上貴尋 (兵庫・育英)、▼66kg級 音泉秀幸 (香川・多度津工)、▼74kg級 北村公平 (京都・京都八幡)、▼84kg級 菊池峻 (茨城・霞ヶ浦)、▼96kg級 山本竜司 (静岡・飛龍)、▼120kg級 材木聖史 (兵庫・育英)

◇明治乳業杯全日本選抜選手権予選会 (3月31日、東京・ナショナルトレーニングセンター)

※出場資格のない選手の予選会で、各階級とも上位4選手が出場資格獲得 (成績省略)

◇全日本女子選手権 (4月6日、東京・駒沢体育館)

《優勝者》▼48kg級 坂本真喜子 (自衛隊)、▼51kg級 坂本日登美 (自衛隊)、▼55kg級 吉田沙保里 (ALSOK 総合警備保障)、▼59kg級 正田絢子 (網野ク)、▼63kg級 伊調馨 (ALSOK 総合警備保障)、▼67kg級 西牧未央 (中京女大)、▼72kg級 鈴木博恵 (立命館大)

◇JOC杯ジュニアオリンピック (4月26~27日、神奈川・横浜文化体育館)

《男子ジュニア・フリースタイル優勝者》、▼50kg級 半田守 (京都・網野高)、▼55kg級 須藤学 (日大)、▼60kg級 松本桂 (早大)、▼66kg級 小田裕之 (国士館大)、▼74kg級 武富隆 (早大)、▼84kg級 松本篤史 (日体大)、▼96kg級 内藤光祥 (日大)、▼120kg級 荒木田進謙 (専大)

《男子ジュニア・グレコローマン優勝者》▼50kg級 松原大知 (大東大)、▼55kg級 鈴木将斗 (明大)、▼60kg級 横山巧 (日体大)、▼66kg級 富塚拓也 (日体大)、▼74kg級 渡部友章 (日体大)、▼84kg級 天野雅之 (中大)、▼96kg級 中谷月明 (専大)、▼120kg級 平川臣一 (専大)

《男子カデット・フリースタイル優勝者》▼42kg級 阿部宏隆 (茨城・水戸二中)、▼46kg級 有元伸悟 (吹田市民教室)、▼50kg級 荻原健汰 (静岡・沼津城北高)、▼54kg

級 花田吉弘（京都・網野高）、▼58kg 級 五十嵐琢磨（秋田・秋田商高）、▼63kg 級 岩渕尚紀（茨城・霞ヶ浦高）、▼69kg 級 嶋田大育（青森・青森商高）、▼76kg 級 北村公平（京都・京都八幡高）、▼85kg 級 殿村幸城（秋田・秋田商高）、▼100kg 級 村木孝太郎（滋賀・栗東高）

《男子カデット・グレコローマン優勝者》▼42kg 級 香川智彦（奈良・添上高）、▼46kg 級 天野敬太（静岡・三島高）、▼50kg 級 中野智章（静岡・焼津中央高）、▼54kg 級 金沢翔太（群馬・前橋西高）、▼58kg 級 青木成樹（静岡・飛龍高）、▼63kg 級 米山聡教（山梨・韮崎工高）、▼69kg 級 花山和寛（愛媛・八幡浜工高）、▼76kg 級 細谷翔太郎（埼玉・花咲徳栄高）、▼85kg 級 大坂昂（秋田・秋田商高）、▼100kg 級 赤嶺希（沖縄・浦添工高）

《女子ジュニア優勝者》▼44kg 級 藤川千晶（埼玉・埼玉栄高）、▼48kg 級 三村冬子（日大）、▼51kg 級 堀内優（京都・網野高）、▼55kg 級 清水明子（自衛隊）、▼59kg 級 渡利璃穂（愛知・至学館高）、▼63kg 級 佐藤文香（愛知・至学館高）、▼67kg 級 飯島千晶（東京・安部学院高）、▼72kg 級 増尾優華（中京女大）

《女子カデット優勝者》▼38kg 級 奥野里菜（一志ジュニア）、▼40kg 級 宮原優（JOCアカデミー／東京・安部学院高）、▼43kg 級 植野さくら（京都・網野高）、▼46kg 級 鈴木美織（東京・安部学院高）、▼49kg 級 明尾弥紀（京都・網野高）、▼52kg 級 浜田千穂（東京・日本工大駒場高）、▼56kg 級 木下茜（埼玉・埼玉栄高）、▼60kg 級 伊藤友莉香（京都・網野高）、▼65kg 級 歌田圭純（東京・安部学院高）、▼70kg 級 橋本千紘（東京・安部学院高）

◇東日本学生リーグ戦（5月8～11日、東京・駒沢体育館、NTC、青学大）=決勝成績

山梨学院大○ [5-2] ●日体大

（A組順位）[1] 日体大、[2] 早大、[3] 拓大、[4] 東洋大、[5] 中大、[6] 大東大、[7] 青学大、[8] 法大

（B組順位）[1] 山梨学院大、[2] 専大、[3] 日大、[4] 国士大、[5] 群馬大、[6] 明大、[7] 神奈川大、[8] 東農大

※山梨学院大は7年ぶり3度目の優勝

◇西日本学生春季リーグ戦（5月23～24日、大阪・大阪府立体育会館）

《順位》[1] 立命館大（3季連続14度目）、[2] 徳山大、[3] 日本文理大、[4] 中京学院大、[5] 近大、[6] 同志社大、[7] 関大、[8] 桃山学院大

◇全国中学生選手権（6月14～15日、茨城県・茨城スポーツセンター）

《男子優勝者》▼38kg級 阿部宏隆（茨城・水戸二）、▼42kg級 太田忍（青森・倉石）、▼47kg級 有元伸悟（大阪・三国）、▼53kg級 高橋侑希（三重・正和）、▼59kg級 古谷和樹（茨城・藤代）、▼66kg級 栗原吹（群馬・大泉南）、▼73kg級 今村聖（群馬・城西）、▼85kg級 郡司拳佑（茨城・藤代）、▼110kg級 山本康稀（北海道・福移）

《女子優勝者》▼37kg級 奥野里菜（三重・久居西）、▼41kg級 登坂絵莉（富山・南星）、▼46kg級 金子和（群馬・千代田）、▼52kg級 土性沙羅（三重・鎌田）、▼58kg級 菅原ひかり（三重・一志）、▼64kg級 坂本希和（愛知・大府北）、▼70kg級 会沢ひろの（千葉・木間ヶ瀬）

◇明治乳業杯全日本選抜選手権（6月25～26日、東京・代々木競技場第2体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 湯元進一（自衛隊）、▼60kg級 高塚紀行（日大）、▼66kg級 小島豪臣（周南システム産業）、▼74kg級 萱森浩輝（新潟・新潟県央工高教）、▼84kg級 小幡邦彦（ALSOK 総合警備保障）、▼96kg級 磯川孝生（山口県協会）、▼120kg級 荒木田進謙（専大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 長谷川恒平（福一漁業）、▼60kg級 北岡秀王（クリナップ）、▼66kg級 清水博之（自衛隊）、▼74kg級 葛西直人（自衛隊）、▼84kg級 太田充洋（大分・津久見高教）、▼96kg級 山本雄資（山梨学院大）、▼120kg級 新庄寛和（自衛隊）

《北京五輪代表決定プレーオフ勝者》▼男子フリースタイル 60kg級 湯元健一（日体大助）

◇世界女子選手権代表決定プレーオフ（6月26日、東京・代々木競技場第2体育館）

《勝者》▼59kg級 正田絢子（京都・網野クラブ）

◇東日本学生春季新人選手権（6月26～27日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 岩永竜太（群馬大）、▼60kg級 松本桂（早大）、▼66kg級 石田智嗣（早大）、▼74kg級 山名隆貴（日体大）、▼84kg級 天野雅之（中大）、▼96kg級 星友和（国士舘大）、▼120kg級 内谷幸博（国士舘大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 松田大地（日体大）、▼60kg級 園部竜也

(日体大)、▼66kg級 富塚拓也(日体大)、▼74kg級 武富隆(早大)、▼84kg級 天野雅之(中大)、▼96kg級 龍田太一(神奈川大)、▼120kg級 増田拓也(山梨学院大)

◇西日本学生新人戦(7月5～6日、大阪・堺市金岡公園体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 長野真也(立命館大)、▼60kg級 平尾駿(立命館大)、▼66kg級 長尾明来士(近大)、▼74kg級 文珠涼(同志社大)、▼84kg級 柳瀬貴之(関学大)、▼96kg級 玉田好司高(日本文理大)、▼120kg級 脇本恭平(立命館大)

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 長野真也(立命館大)、▼60kg級 田中良典(中京学院大)、▼66kg級 梅野貴裕(徳山大)、▼74kg級 青木昇太(徳山大)、▼84kg級 柳瀬貴之(関学大)、▼96kg級 玉田好司高(日本文理大)、▼120kg級 脇本恭平(立命館大)

◇全日本社会人選手権(7月12～13日、埼玉・朝霞市総合体育館)

《団体戦》▼男子実業団 総合警備保障、▼男子クラブ 警視庁、▼女子実業団・クラブ混成 自衛隊

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 富田和秀(自衛隊)、▼60kg級 斉藤将士(警視庁)、▼66kg級 坂本将典(自衛隊)、▼74kg級 小原康司(自衛隊)、▼84kg級 伊藤拓也(マルハン)、▼96kg級 坂本憲蔵(自衛隊)、▼120kg級 桜井紀宏(本間組)

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 平尾清晴(新潟県協会)、▼60kg級 堀弘輔(自衛隊)、▼66kg級 清水博之(自衛隊)、▼74kg級 角功介(自衛隊)、▼84kg級 太田充洋(大分・津久見高教)、▼96kg級 長田吉弘(自衛隊)、▼120kg級 中本将生(広島県協会)

《女子優勝者》▼48kg級 坂本真喜子(自衛隊)、▼51kg級 甲斐友梨(アイシンAW)、▼55kg級 松川知華子(ジャパンビバレッジ)、▼59kg級 斉藤貴子(自衛隊)、▼63kg級 金沢早紀(堺女子クラブ)、▼67kg級 新海真美(アイシンAW)、▼72kg級 佐野明日香(自衛隊)

◇インターハイ(8月1～4日、埼玉・大東大)

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦(3年ぶり19度目)、[2] 埼玉・花咲徳栄、[3] 京都・京都八幡、埼玉・埼玉栄

《個人戦優勝者》▼50kg級 森下史崇(茨城・霞ヶ浦)、▼55kg級 五十嵐琢磨(秋

田・秋田商)、▼60kg級 井上貴尋(兵庫・育英)、▼66kg級 赤澤岳(埼玉・花咲徳栄)、▼74kg級 北村公平(京都・京都八幡)、▼84kg級 平川翔次(福岡・三井)、▼96kg級 山本竜司(静岡・飛龍)、▼120kg級 廣瀬裕太(静岡・沼津城北)

◇全国高校女子選手権(8月17日、大阪・堺市金岡公園体育館)

《優勝者》▼40kg級 狩野美咲(長崎・島原翔南)、▼43kg級 植野さくら(京都・網野)、▼46kg級 明尾弥紀(京都・網野)、▼50kg級 田中亜里沙(埼玉・埼玉栄)、▼54kg級 堀内優(京都・網野)、▼58kg級 伊藤友莉香(京都・網野)、▼63kg級 歌田圭純(東京・安部学院)、▼68kg級 立光志織(東京・安部学院)、▼72kg級 飯島千晶(東京・安部学院)

◇全国高校生グレコローマン選手権(8月17~19日、大阪・堺市金岡公園体育館)

《優勝者》▼50kg級 中野智章(静岡・焼津中央)、▼55kg級 十河勇児(香川・香川中央)、▼60kg級 井上貴尋(兵庫・育英)、▼66kg級 花山和寛(愛媛・八幡浜工)、▼74kg級 北村公平(京都・京都八幡)、▼84kg級 横沢徹(岩手・盛岡工)、▼96kg級 金沢勝利(岩手・種市)、▼120kg級 材木聖史(兵庫・育英)

◇全日本学生選手権(8月28~31日、大阪・堺市金岡公園体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 守田泰弘(日体大)、▼60kg級 洞口幸太(日体大)、▼66kg級 米満達弘(拓大)、▼74kg級 宮原崇(明大)、▼84kg級 松本篤史(日体大)、▼96kg級 下屋敷佳貴(日体大)、▼120kg級 ボリス・ムジコフ(山梨学院大)

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 尾形翼(日体大)、▼60kg級 佐藤亮太(日体大)、▼66kg級 谷口和己(日体大)、▼74kg級 金久保武大(日体大)、▼84kg級 尾曲伸乃祐(青山学院大)、▼96kg級 山本雄資(山梨学院大)、▼120kg級 ボリス・ムジコフ(山梨学院大)

《女子優勝者》▼48kg級 三村冬子(日大)、▼51kg級 前原愛(関大)、▼55kg級 柴田瑞穂(中京女大)、▼59kg級 山名慧(中京女大)、▼63kg級 西牧未央(中京女大)、▼67kg級 井上佳子(中京女大)、▼72kg級 鈴木博恵(立命館大)

◇全日本学生王座決定戦(9月18日、東京・駒沢体育館) = 決勝成績

早大○ [4 - 3] ●日体大

※早大は初優勝

◇国民体育大会（9月28日～10月1日、大分・佐伯市総合体育館）

《成年フリースタイル優勝者》▼55kg級 稲葉泰弘（東京・警視庁）、▼60kg級 大沢茂樹（茨城・山梨学院大）、▼66kg級 小島豪臣（山口・周南システム産業）、▼74kg級 長島和幸（福島・クリナップ）、▼84kg級 小幡邦彦（山梨・総合警備保障）、▼96kg級 磯川孝生（山口・山口県協会）、▼120kg級 荒木田進謙（青森・専大）

《成年グレコローマン優勝者》▼55kg級 長谷川恒平（静岡・福一漁業）、▼60kg級 松本隆太郎（群馬・群馬ヤクルト販売）、▼66kg級 江藤紀友（埼玉・自衛隊）、▼74kg級 藤村義（埼玉・自衛隊）、▼84kg級 鶴巻宰（山形・自衛隊）、▼96kg級 斎川哲克（栃木・両毛ヤクルト販売）、▼120kg級 北村克哉（東京・FEG）

《少年フリースタイル優勝者》▼50kg級 森下史崇（茨城・霞ヶ浦）、▼55kg級 谷田旭（静岡・沼津城北）、▼60kg級 鈴木康寛（香川・多度津）、▼66kg級 安藤達也（東京・関東一）、▼74kg級 北村公平（京都・京都八幡）、▼84kg級 殿村幸城（秋田・秋田商）、▼96kg級 大山瑛之（埼玉・埼玉栄）、▼120kg級 小野寺雄大（岐阜・岐阜工）

《少年グレコローマン優勝者》▼50kg級 田野倉翔太（東京・自由ヶ丘学園）、▼55kg級 十河勇児（香川・香川中央）、▼60kg級 井上貴尋（兵庫・育英）、▼66kg級 花山和寛（愛媛・八幡浜工）、▼74kg級 亀井竜昇（大分・日本文理大付）、▼84kg級 菊池峻（茨城・霞ヶ浦）、▼96kg級 金沢勝利（岩手・種市）、▼120kg級 材木聖史（兵庫・育英）

◇全日本大学グレコローマン選手権（10月23～24日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼55kg級 尾形翼（日体大）、▼60kg級 倉本一真（山梨学院大）、▼66kg級 岡本佑士（拓大）、▼74kg級 倉谷修平（日体大）、▼84kg級 尾曲伸乃佑（青山学院大）、▼96kg級 山本雄資（山梨学院大）、▼120kg級 ボリス・ムジコフ（山梨学院大）

《大学対抗得点》[1] 山梨学院大（初）、[2] 日体大、[3] 徳山大

◇西日本学生選手権（10月24～26日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 田口敏生（関学大）、▼60kg級 矢野吉住（立命館大）、▼66kg級 竹本雄飛（立命館大）、▼74kg級 長谷川大輝（立命館大）、▼84kg級 古家圭（立命館大）、▼96kg級 広瀬佳将（福岡大）、▼120kg級 高林努（日本文理大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 加藤貴裕（中京学院大）、▼60kg級 松本茂（日本文理大）、▼66kg級 梅野貴裕（徳山大）、▼74kg級 菊地心（同志社大）、▼84kg級 亀井謙吾（日本文理大）、▼96kg級 永浜翔大（徳山大）、▼120kg 高林努（日本文理大）

◇全日本女子オープン選手権（10月26日、静岡・東伊豆町立体育センター）

《大学生・シニア優勝者》▼48kg級 西のどか（早大）、▼51kg級 関根ゆう（自衛隊）、▼55kg級 渡部悠香（日体大）、▼59kg級 中田絵理子（早大）、▼63kg級 高橋海里奈（早大）、▼67kg級 宇野杏奈（日体大）、▼72kg級 平恵実（大阪・堺女子クラブ）

《高校生優勝者》▼43kg級 小柳絵里（東京・安部学院高）、▼46kg級 鈴木美織（東京・安部学院高）、▼50kg級 明尾弥紀（京都・網野高）、▼54kg級 堀内優（京都・網野高）、▼58kg級 筑波茉捺（茨城・霞ヶ浦）、▼63kg級 伊藤友莉香（京都・網野高）、▼68kg級 歌田圭純（東京・安部学院高）、▼72kg級 飯島千晶（東京・安部学院高）

《中学生優勝者》▼37kg級 井手遥（大阪・同志社香里）、▼41kg級 川井梨紗子（石川・金沢ジュニア）、▼46kg級 宮原優（JOCアカデミー）、▼52kg級 坂野結衣（大阪・吹田市民教室）、▼58kg級 広瀬理夏（静岡・沼津ク）、▼64kg級 土屋亜希帆（神奈川・湘南G）

◇全日本大学選手権（11月15～16日、新潟・新潟市白根カルチャーセンター）

《優勝者》▼55kg級 守田泰弘（日体大）、▼60kg級 前田翔吾（日体大）、▼66kg級 米満達弘（拓大）、▼74kg級 高谷惣亮（拓大）、▼84kg級 松本篤史（日体大）、▼96kg級 門間順輝（日体大）、▼120kg級 ボリス・ムジコフ（山梨学院大）

《大学対抗得点》[1] 日体大（5年ぶり19度目）、[2] 拓大、[3] 山梨学院大

◇全国社会人オープン選手権（11月22～23日、東京・スポーツ会館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 清水聖志人（クリナップ）、▼60kg級 菊池憲（警視庁大井警察署）、▼66kg級 藤本健太（ジャパンビバレッジ）、▼74kg級 設楽卓（山形クラブ）、▼84kg級 加藤陽輔（秋田商高教）、▼96kg級 宮路高行（第一建設工業）、▼120kg級 桜井紀宏（本問組）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 清水早伸（自衛隊）、▼60kg級 禎卓也（自衛隊）、▼66kg級 笹本睦（ALSOK総合警備保障）、▼74kg級 井上雄策（日本ウェルネススポーツ専門学校）、▼84kg級 齋川哲克（両毛ヤクルト）、▼96kg級 森保弘（朝明高教）、▼120kg級 新庄寛和（自衛隊）

《女子優勝者》▼48kg級 吉沢碧（大東ク）、▼51kg級＝出場なし、▼55kg級 平田幸子（法大）、▼59kg級 丸山明子（青山学院大）、▼63kg級＝出場なし、▼67kg級＝出場なし、▼72kg級 町田千明（慶大）

◇東日本学生秋季新人選手権（11月28～30日、東京・ナショナルトレーニングセンター）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 須藤学（日大）、▼60kg級 内村勇太（拓大）、▼66kg級 生天目達也（日大）、▼74kg級 石田智嗣（早稲田大）、▼84kg級 永田裕城（日大）、▼96kg級 鈴木聖二（専大）、▼120kg級 増田拓也（山梨学院大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 土田尚人（日体大）、▼60kg級 牧瀬裕樹（東洋大）、▼66kg級 塩崎剛（明大）、▼74kg級 田村和男（早大）、▼84kg級 岡太一（拓大）、▼96kg級 天野雅之（中大）、▼120kg級 相澤優人（日大）

◇西日本学生秋季リーグ戦（11月22～23日、大阪・大阪府立体育会館第2競技場）

《順位》[1] 立命館大（4季連続15度目）、[2] 徳山大、[3] 日本文理大、[4] 福岡大、[5] 同志社大、[6] 近大、[7] 関大、[8] 中京学院大

◇天皇杯全日本選手権（12月21～23日、東京・代々木競技場第2体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 湯元進一（自衛隊）、▼60kg級 前田翔吾（日体大）、▼66kg級 米満達弘（拓大）、▼74kg級 長島和彦（クリナップ）、▼84kg級 小幡邦彦（ALSOK総合警備保障）、▼96kg級 松本慎吾（一宮運輸）、▼120kg級 荒木田進謙（専大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 長谷川恒平（福一漁業）、▼60kg級 佐藤亮太（日体大）、▼66kg級 藤村義（自衛隊）、▼74kg級 鶴巻宰（自衛隊）、▼84kg級 齋川哲克（両毛ヤクルト販売）、▼96kg級 北村克哉（FEG）、▼120kg級 中村淳志（カンサイ）

《女子優勝者》▼48kg級 坂本真喜子（自衛隊）、▼51kg級 堀内優（京都・網野高）、▼55kg級 吉田沙保里（ALSOK総合警備保障）、▼59kg級 山名慧（中京女大）、▼63kg

級 西牧未央（中京女大）、▼67kg 級 井上佳子（中京女大）、▼72kg 級 佐野明日香
（自衛隊）